

「経営方針と令和3年度の重点目標」

十勝管内推進基本方針・重点「確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた育成 家庭や地域の協力を得た十勝らしい教育の充実」「十勝らしい一人一人の学びの実現」

帯広市教育指導の重点「新しい時代を生き抜く児童生徒を育む～主体的・対話的で深い学びのある学校教育の推進～」

八広小中連携テーマ「ふるさとの人や自然にふれて、自ら学び、夢を育む児童・生徒の育成」～緑かがやき、笑顔あふれる八広地域～9年間に責任をもつチーム学校

学校経営方針「子ども一人一人の育ちに責任をもつ教育の推進」

学校教育目標「ふるさとを愛し 夢を拓く 八広の子」

本校の重点目標「自ら取り組み、表現して、自己有用感を高める子どもの育成」



本校の重点目標実現に向けた取組

豊かな心

- ・「挨拶、返事、後片付け」基本的生活習慣の定着
- ・「思いやりの心、規範意識を育む」道徳教育の推進
- ・「夢や希望をもつ」キャリア教育の推進
- ・主体的に取り組む姿勢、互いを認め合う姿勢

健やかな体

- ・「朝の体作り」「ラジオ体操」健康習慣の定着
- ・「柔軟性や瞬発力、持久力の強化」課題の克服
- ・「もしり」体幹を鍛え、病気になりにくい体の育成
- ・食育に関する知識・理解

確かな学力

- ・知識及び技能の習得
- ・思考力や判断力、表現力の習得（広野スタイル）
- ・学びに向かう力や人間性の習得

確実に実現するための連続かつ柔軟な対応

学校評価等、客観的な視点を踏まえた指導の評価と改善 ★児童の実態

- ・各部の成果と課題を踏まえた計画の見直し
教務部：（全校統一した）広野スタイルの定着、復習金曜日の設定、もしりの定着、学習規律の定着、国語辞典の活用
課題とまとめの提示、ICT活用、小中一貫の指導の共有、家庭学習などの自分学び、家庭との学習面での連携
生徒指導部：あいさつ、返事、後片付け、体力向上、感染症予防、運動技能の向上、自分からのあいさつ
3年度の重点課題：「学習効果を高める授業の工夫」
「学びの定着への取組」「進んであいさつや返事をする姿勢」「瞬発力、持久力の向上」

- ・学年の反省と学校重点目標を踏まえた令和3年度各学年の育成の視点
1年：学習や生活習慣の定着、最後まで話を聞く姿勢
2年：しっかりと聞き、常に自分の考えを見直す姿勢
3年：よく考え、自信をもって行動する姿勢
あおぞら：姿勢正しく、話をよく聞き意欲的に学ぶ姿勢
4年：場面や状況を見て、自ら考え行動する姿勢
5年：自身の行動を振り返り、周りとの調和する姿勢
6年：既習事項を応用して、自ら学習に取り組む姿勢

発達の支援

（配慮を必要とする子どもへの指導）
★児童の実態

- ・児童理解と情報を生かした学習
- ・個々に応じたきめ細やかな指導
- ・個々の教育ニーズを把握した適切な支援

組織運営、教育活動、教育環境の向上に向けた取組

教育課程の編成

- ・言語能力の育成を図る
- ・各教科等の知識・技能を確実に身に付ける
- ・既習の知識・技能を活用する
- ・各教科等の特質に応じた見方・考え方を学びの過程で生かす

教育課程の実施

- ・主体的・対話的で深い学びを意識した学習
- ・正しい姿勢（もしり）での学習
- ・相手の話を聞くことを重視した学習
- ・相手の側に立った話し方・発言・発表を意識した学習

指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働 ★教職員の資質向上、働き方改革

- ・改善プラン作成と改善
- ・校内研修の充実と分掌業務等を通じた同僚性の向上
- ・業務の軽減化・平準化
- ・地域・保護者との連携
- ・小小連携
- ・保小連携
- ・小中連携部会での連続した学びに対する指導の構築
- ・児童生徒支援
- ・地域素材を生かした授業づくりの推進
- ・地域人材と連携・協働して取り組む学習の推進
- ・GIGAスクール
- ・笛舞交流

安全・安心を守る ★保護者・地域の願い

- ・安全、安心な学校生活に向けた環境・体制づくり
- ・「いじめや不登校の未然防止」生徒指導の充実、諸機関連携
- ・危機対応能力の向上・防災、防犯、情報モラル教育の推進
- ・感染症対策
- ・給食指導とアレルギー対応
- ・「八広の日」の取組

開かれた学校づくり ★保護者・地域の願い

- ・学校ホームページの充実と積極的活用
- ・学校運営協議会、保小中会議（エリア会議）、市P連連携
- ・地域との連携、各種行事への参加
- ・学校評価
- ・家庭訪問、個人面談、懇談会、各種便り等での情報発信

【広野小学校の学校経営】

＜グランドデザインの中で使用している言葉の説明＞

- ★教育目標とは・・・教育の目的に至るまでの途中の到達すべきこと。小学校では6年生卒業時に達成すること。
- ★自己有用感とは・・・他人の役に立った、他人に喜んでもらえた、・・・等、相手の存在なしには生まれてこない感情のこと。自分と他者(集団や社会)との関係を自他共に肯定的に受け入れることで生まれる、自己に対する肯定的な評価。
- ★重点目標とは・・・前年度までの児童の実態等を受けて、教育目標のうち、特に課点的に取り組むべき課題克服のために設定する目標のこと。
- ★広野スタイルとは・・・広野小学校で進めている学習形態のこと。主に4段階学習と学習リーダーの育成を指す。
 - ⇒4段階学習:課題をおさえる、自分の考えを見つける、他者と自分の考えを比べて深める、次学習につなげるの4つの段階を意識した授業を行い、より児童の理解力を高めようとする取組のこと。
 - ⇒学習リーダー:授業の「考えを広げ、深める」の場面で話し合いの中心となり、学習を進める児童のこと。
- ★もしりの定着とは・・・学習時の良い姿勢の習慣化を目指す言葉。「㊦つと㊦しりを㊦てる」の3文字をとっている。
- ★ICTとは・・・パソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育のこと。
- ★小中一貫教育とは・・・小・中学校が「目指す子ども像」を設定・共有し、義務教育9年間の連続性・系統性に配慮した一貫性のある教育活動を展開すること。帯広市は平成31年2月に「帯広市小中一貫教育推進基本方針」を策定している。
- ★学校改善プランとは・・・児童の実態や教育活動の成果と課題をもとに、より良い教育活動を進めるために立てる計画のこと。客観的な視点を大切にするため、学校評価や児童アンケートなどを根拠にしている。
- ★小小連携とは・・・児童生徒が多様な人間関係や多様な考え方に触れる機会等を経験することによって、社会性の育成や自己肯定感の高まりが期待できると考え、主に帯広市内の小学校の近隣校同士で、合同の授業もしくは行事等の交流を進めている取組のこと。本校は、清川小学校との交流を進めている。
- ★保小連携とは・・・就学前の児童がスムーズに小学校に入学し、生活できることを目指して、情報の交流や研修を行う取組のこと。
- ★GIGA スクール構想とは・・・1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、児童生徒の資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現すること。これまでの我が国の教育実践と最先端技術を融合して、教師や児童生徒の力を最大限に引き出す構想のこと。
- ★情報モラルとは・・・情報社会を生きぬき、健全に発展させていく上で、すべての国民が身につけておくべき考え方や態度のこと。情報社会に的確な判断ができない児童生徒を守り、危ない目にあわせないといった危険回避(情報安全教育)の側面も含まれる。
- ★八広の日とは・・・児童生徒のより良い成長を目指した取組。18日に設定しており、この日を「ノーテレビ・ノーゲームデー」と位置付けている。
- ★学校運営協議会とは・・・八広コミュニティ・スクール協議会のこと。学校と保護者、地域とを結ぶ中心的な役割を担っている。
- ★市P連とは・・・帯広市PTA連合会の略。それぞれの学校のPTAの代表が構成し、帯広市の教育課題について話し合う場となっている。